

みずベネット・オホーツク



網走川 / 「かわ塾」

「水資源が豊富な北海道」ですが、残念なことに網走川と常呂川は水環境の悪化が懸念されています。

子供たちの活動の場が屋外から屋内へと移行しており、昔はかっこの遊び場だった川が、「あぶないから」「汚いから」と、ますます川はなれが進んでいます。

そんな中、川遊びを通じて川を見直し、次世代に継承できる川にしようとする活動が始まりました。ここに新しく発足した会をご紹介します。

みずベネット・オホーツク

川を知り・川で遊び、学べる川を残すことを目的として、平成18年6月に発足しました。

現在、網走川流域の市町村から代表者を募り、事務局形式で実践的な活動を行なっています。

主な活動は、川の利用のあり方、川に関する情報と発信、地域間の交流促進・支援および川遊びや



常呂川 / 置戸小学校

自然体験学習の開催などです。

昨年は地域交流として、津別町・置戸町・美幌町で子供達との自然体験学習を開催しました。また、一大イベントとなった「遊んじゃえ!楽しい水辺」は、2日間に渡って大空町で行なわれ、講演会やカヌー教室、レスキュー指導と、盛りだくさんの内容でした。

これらイベントの多くは、網走開発建設部北見河川事務所、網走支庁、近隣の市町村やNPOなどが、それぞれ主催・後援・協力して開催されています。

当社は、この活動に賛同し、地域に根ざす会社として協力しています。

新年のごあいさつ



株式会社 ドボク管理
代表取締役 加藤 和雄

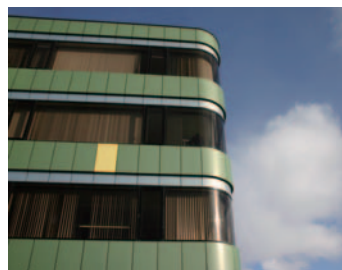
新年明けましておめでとうございます。

早いもので、この地域情報誌も創刊号から数え3回目の発行を迎えることができました。これもひとえに御高覧下さるたくさんの方々のおかげであり、心より感謝申し上げます。これからも、皆様方からの生の声を励みに作り続けていく所存です。

さて、昨年は、全国的にも多くの自然災害に見舞われた年でした。台風や集中豪雨による風水害、そして地震による津波騒動、はては前例のない竜巻など、これらの被災状況を見るにつけ、建設業界はもとより、多くの国民も防災事業における公共工事の必要性を改めて認識したのではないのでしょうか。

この地域情報誌のひとつの方向性として、より多くの人たちに建設業界や公共事業を正しく理解してもらおう一助にでもなればと願っています。

平成19年 元旦



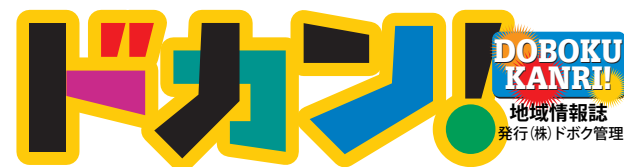
本社ビル

建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・建築設計
ISO 9001 : 2000 認証登録



株式会社 **ドボク管理**

本社 ●〒090-0801 北見市春光町1丁目24番地3 TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508
札幌支店 ●〒060-0908 札幌市東区北8条東1丁目3-7大-ビル TEL.011-704-6704 FAX.011-704-6703
旭川支店 ●〒070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番14.4 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363
網走出張所 ●〒093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



ホームページ <http://www.dobokukanri.co.jp/>



昭和40年代に使われていた
携帯型手動計算機
(所蔵: (有) 協和測量設計)

ドボク管理
調査・設計・補償部門

特集
道内屋台村探訪

株式会社 **ドボク管理**

補償部門

補償部では、公共事業の施行による土地取得に伴う建物などの移転工法の検討、予備調査および補償金額算定、補償説明業務などのコンサルティングを主業務としており、平成18年度においても建物などの調査・算定はもとより、敷地使用実態調査、移転工法の検討、工損(事業の施工により発生する騒音、振動、水枯渴、地盤変動など)の調査や、これらに付随する業務を行っています。また、一級建築士事務所として、建築物の設計・監理なども行っています。

当社は、社団法人日本補償コンサルタント協会員として、補償業務管理士(者)、一・二級建築士、林業技師など、豊富な知識と経験を有する多くの人材を確保しています。

日々の業務を通して「発注者が期待するニーズ」に応えるように、その実現に向けて日々研鑽を重ねています。

また、かねてより社内でも検討してきました「木造・非木造建物の算定システム」を導入する予定です。このシステムの活用により『迅速』で、さらに算定内容などの「わかりやすさ」という要求にも応えていくよう努めてまいります。



輪尺による立木測定



工事振動による亀裂測定

調査設計部門

昨年のオホーツク地域は、大自然の猛威に晒された年でした。8月・10月の大雨に始まり、当地域では前例のない竜巻や津波騒動など、これらは自然災害という形で、地域住民のライフラインに多大な被害を及ぼしました。

10月の低気圧による大雨災害では、網走管内全域の河川に被害がおよび、道路では山間部の道道・市町村道を始め、国道では333号の北見市北陽から佐呂間町栃木にかけて道路が決壊するなどの大きな被害を受けました。また、佐呂間町では日本観測史上最大といわれる竜巻が発生し、9名の死者と多数の負傷者を出しました。

濁流の荒れ狂う川、崩れた道路、倒壊した建物など、自然の猛威と悲惨な状況を目のあたりにし、土木に携わる者として、防災意識の重要性を改めて痛感させられました。

当社は、網走管内に拠点を持つ会社として、これまでも災害復旧の調査設計に深く関わってきました。今回の災害では、刻々と変わる状況に合わせた緊急性に対応すべく、柔軟な業務体制の配備をすると共に、管外の関係企業からも多数の応援を得て、対応いたしました。また、通



網走川上流(津別町)



国道333号 北見市北陽(2枚とも)



常業務においては、多大なる御配慮をいただいた各発注機関の皆様へ深く感謝申し上げますと共に、この経験を生かし、更に地域や社会のニーズに応えられるよう心掛けていきたいと思っております。

主な災害対応

北海道開発局網走開発建設部

- ・一般国道39号・333号道路災害調査設計
- ・網走川外水位観測及び巡視
- ・湧別川河川災害調査
- ・網走道路事務所管内緊急橋梁点検

北海道網走土木現業所

- ・紋別丸瀬布線外道路災害調査設計

津別町

- ・路の沢川外災害調査設計
- ・簡易水道送配水管災害調査設計



竜巻被災後の現場 / 提供: (株) シン技術コンサル

道内屋台村探訪

▶最近「屋台」が全国的なブームです。先がけとなった帯広「北の屋台」の成功事例がメディアで紹介され、より全国的な広がりへと拍車がかかりました。昔から「屋台」といえば九州の福岡というくらい有名で、その件数は全国のほぼ半数を占めるそうです。道内にも数箇所ある「屋台」の中で、昨年7月に誕生したばかりの「北見じまん村(平成18年11月18日取材)」と、ご存知「おたる屋台村レンガ横丁(平成18年11月30日取材)」の紹介です。

この面の情報はドボク管理の職員が独自に取材したものです/編集・デザイン: 岡島隆広 (ドボク管理 地域情報誌編集室 〒090-0801 北海道北見市春光町1丁目24-3 ドボク管理本社ビル4F E-mail design@dobokukanri.co.jp TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508)

北見

北見じまん村

焼鳥 輝 アキラ
かんづばー
海乃家
北の味 南の焼酎 サムライ
焼肉居酒屋 ブータン
鉄板専科きたらあ
炭焼厨房 櫻 (SAKURA)
らーめん きたみ

所在地: 北見市北5条西2丁目 (東宝ビルそば)
事務局: 北見市北4条東4丁目3番地伊東ビル3階
電話: 0157-24-9729

まちの長さ日本一となった、ここ北見市にも昨年7月に屋台村が誕生しました。北見じまん村では、当市が合併により東はオホーツク海、西は石北峠まで抱合したことで、海の幸から山の幸まで、多くの自然の恵みを揃えています。

北の味(じまん) 南の焼酎(じまん) サムライ

まず始めは居酒屋「サムライ」、幼少期を北見で過ごされ、とても話しやすく気さくな店主ご夫婦が営む実に楽しいお店です。宮崎や鹿児島から仕入れるこだわりの食材と、地元北見の食材それぞれの良さを、実にうまく融合された料理の数々。人気メニュー「鶏もも肉の宮崎風炭焼き」は、宮崎の鶏を5種類も使用するという店主入魂の一品。とても軟らかく味もしっかり、そのうえ5種類の肉質が味わえるという贅沢さ。



左: 南の焼酎がズラリ
下: サムライの店主



また、1日3人前限定の「鶏砂肝の刺身」は、新鮮な食材だけを提供するという、これも店主こだわりの珍味です。このもう一つの大きな特徴は、南九州の焼酎類。かなり珍しいものからメジャーなものまで、その数なんと100種類。そんな珍しい焼酎をお手頃な料金で提供。おすすめ物や注文した料理とバッチリ合う焼酎を教えてください、必ずあなた好みの焼酎に出逢えるはずですよ。



▲鶏もも肉の宮崎風炭焼き

かんづばー

缶詰居酒屋? パー? 東京や札幌などでも知る人ぞ知るといって、とても珍しいお店で、その名も「かんづばー」。親しみがわく店主のアットホームなお店で、店名どおり約150種類の缶詰の中から自分が食べたい物を選び、好きなだけ食べるというもの。人気は「鯖」や「サンマ」の缶詰ですが、店内にある約半数は大変珍しいもので、「熊」、「鮭(とど)」や「サンマの蒲焼」ならぬ「ウナギの蒲焼」缶詰まであり、昔懐かしい「鯨」や「鹿」の缶詰なども揃えています。



▲珍しい缶詰の数々

右: 棚に並んだ缶詰の数々
下: かんづばーの店主



おすすめは「とりあえずセット」で、ビールと缶詰とのお得なセット。酒類はビール、焼酎、日本酒。また、店内には駄菓子や知恵の輪などのミニゲームも置いてあり、家族や友人、会社の同僚などとも楽しみながら飲むことができます。このお店に来ると、缶詰に対する認識と味覚が変わるかも知れません。



▼かきの酒蒸し

海乃家

浜辺や海の近くで食べる新鮮さをそのまま味わえる、優しい店主(お姉さん?)がいる明るいお店。主な仕入先は北見に近い佐呂間町や常呂町なので、新鮮で美味しいのは当然なのです。おすすめの人気メニューは「ホタテの刺身や浜焼き」、その新鮮さは刺身でよし、焼くもよしで、どちらにしようか迷うくらい。しかも、どちらも驚きの安さです。その他「かきの酒蒸し」や「つぼだい」、「じゃんぼホッケの開き」など、海の幸を存分に堪能できます。飲み物のおすすめは焼酎の「海」。すっきり飲めるその味わいは海鮮系の料理にピッタリです。オホーツクの新鮮な海産物をぜひ堪能してみてください。



左: 地元の新鮮なお刺身
下: 海乃家の店主



小樽

おたる屋台村レンガ横丁

酒房そば・うどん 一徳
呑み処 てまり
炭焼やきとり いたさん
ジンギスカン じん平(べい)
寿し処 おたる寿司
多居夢
船見坂 ひろ田
焼き物の店 ころろ
浜料理 焼尻
家庭料理 ひととき
串・よし
おたる八角屋
樽商パーラー

所在地: 小樽市稲穂1丁目4番15号
運営: 有限会社おたる屋台
電話: 0134-31-4141 FAX.0134-31-5900

観光地小樽の新しいグルメスポットとして2004年7月にオープン。外観は、どこか懐かしいレトロな感じが訪れる人々を和ませます。素朴な味からあっと驚く逸品まで多彩なメニューが揃っています。

まず始めは、鮮度抜群の魚が自慢の おたる八角屋

店主は鮮魚卸売業も営むことから、鮮度の良い魚が食べられると地元でも評判。店主と息子さんと1人のパート(女の子)のお店です。おすすめは店名のとおりに、近海もののハッカクです。その刺身は歯ごたえが良く、淡泊な中にも脂が程好くのった繊細な味です。また、唐揚げは身がやわらかで香ばしく、味わい深い一品。ほかにもシャコ、ハタハタ、ホッキ、にしんなど、小樽近海の鮮魚料理が楽しめます。あまり一般の人は食しない雑魚といわれるオオバ、ギスカジカなども人気メ



上: 八角屋の店主
右: 八角屋の外観



ニューとのこと。魚の話題が豊富な人情味あふれる「おたる八角屋」で、小樽の味をお楽しみください。

ハッカクの刺身▶



◀呑み処てまりの「さしみ豆腐」

次は、気軽な雰囲気でお酒が飲める 呑み処 てまり

店長は元気な現役の女子大生。カウンターはなく、奥の厨房のほかに大きなテーブルがあって、店内はいつも賑わっています。元気な接客でリピーターも急増中! 酒類も豊富で、店長一押しで絞った果汁で作るサワーカクテルが絶品。また、全国各地の日本酒も、通にはたまりません。お酒のつまみは、手羽先、鯨ベーコン、季節の旬の物があがり、中でも珍しいのが豆腐の刺身。食感はこちらにやわらかく味は豆腐、とても健康に良さそうです。また、ソフトドリンクもあり、女性や家族連れにもおすすめのお店です。



上: てまりの店長(右)
左: てまり店内の様子

串よしの店内は、串よしのユニークな店主



最後に、矢沢○吉さんがいる? 串よし

インパクトのあるお店。店内に、ところせましと○ちゃんポスター&グッズが飾られ、ファンにとって一度は訪れたいお店。脱サラでこの店を始めたという店主が作る串揚げは、肉、魚、野菜と種類も豊富で絶妙な揚げ上がり、秘伝のタレをつけて食べるとやみつきになってしまいます。揚げ物に無くてはならないキャベツも、熱々の串揚げと最高のコラボレーション。また、串揚げ以外のメニューも沢山あり、最後に食べた昔風ラーメンは、名前のとおりノスタルジックな旨さでした。店も店主も串揚げも熱い「串・よし」で盛り上がりよう。

今回は全部のお店を取材できません(懐事情?)でしたが、「屋台」の魅力は、店主・店員とお客の近さにあります。お客同士も肩が触れ合う近さは、親近感・一体感となって楽しめ、そこにアットホームな雰囲気が生まれるのです。店主の顔が見える「屋台」に、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

その他、道内の屋台村(インターネット検索)

「港の屋台」(釧路市)
釧路フィッシャーマンズワーフ MOO 2F
釧路市錦町2-4 TEL.0154-23-0600 (代表電話)
営業時間: 年中無休 17:00~24:00

「北の屋台」(帯広市)
帯広市西1条南10丁目7番地(帯広駅から徒歩5分)
問合せ先/北の起業広場協同組合
住所: 帯広市西2条南9丁目16番地坂本ビル4階
電話: 0155-23-8194 FAX.0155-23-8193
E-mail info@kitanoyatai.com

「ひかりの屋台 大門横丁」(函館市)
函館市松風町7(棒森屋テパートの筋向かい)
問合せ先/株式会社はこだてディーエムオー
住所: 函館市若松町18-1
電話: 0138-24-0033 FAX 0138-24-0022



誌面の都合で紹介できなかった情報は弊社ホームページに順次掲載予定です。

<http://www.dobokukanri.co.jp/>